

平成22年第6回(12月)掛川市議会定例会
一般質問発言順序

- | | | |
|---|-----|--------|
| 1 | 17番 | 水野 薫 君 |
| 2 | 10番 | 山本行男 君 |
| 3 | 2番 | 鈴木久男 君 |
| 4 | 5番 | 柴田正美 君 |
| 5 | 9番 | 川瀬守弘 君 |
| 6 | 13番 | 松井俊二 君 |
| 7 | 7番 | 草賀章吉 君 |
| 8 | 20番 | 高木敏男 君 |

平成22年第6回(12月)掛川市議会定例会
一般質問発言順序(予定)

12/9 AM 17番 水野 薫 君

10番 山本行男君

PM 2番 鈴木久男君

5番 柴田正美君

12/10 AM 9番 川瀬守弘君

13番 松井俊二君

PM 7番 草賀章吉君

20番 高木敏男君

一般質問通告要旨	議席番号	17	氏名	水野 薫
----------	------	----	----	------

1 市長の政治姿勢について (答弁：市長)

- (1) 市長就任より2年の中間点を迎えようとしているが、感想を伺う
- (2) 新市建設計画について
 - ① 新市建設計画の進捗状況について
 - ② 地域審議会は本年度で終了するが、6年間の総括について伺う
 - ③ 重点プロジェクトの1～3の現在の状況における評価はどうか
- (3) 市長マニフェストの自己評価はどのようなか
- (4) 行財政審議会等の答申への対応は
- (5) 環太平洋戦略的経済連携協定による掛川市の産業に対する影響について伺う

2 平成23年度予算の編成方針について (答弁：市長)

- (1) 基本方針と重点施策は
 - ① 総合計画との整合性は。また進捗状況は
 - ② 歳入見込みと予算総額はどれくらいと見ているか
 - ③ 財政力指数はどのように予想しているか
- (2) 3つの日本一に対する予算はどのように考えているか

3 公共施設に対する「ストックマネジメント」対応と「スクラップアンドビルド」対応について伺う (答弁：市長)

- (1) 市の施設及び学校施設の現状と対策について
 - ① 建設年度・程度・耐震等の状況調査は行っているか
 - ② 老朽化した施設に対する対応状況について伺う
- (2) 県道・市道等の修繕すべき箇所対策は
 - ① 舗装の傷みやラインが消えている道路の対応は
 - ② 安全施設等の点検も急務であるがいかがか
 - ③ 除草・街路樹等は地区・住民との共同作業が必要であると思う。見解を伺う

一 般 質 問 通 告 要 旨	議席番号	1 0	氏名	山 本 行 男
-----------------	------	-----	----	---------

1 多重債務者への取り組みを伺う (答弁：市長)

多重債務に陥るのを防ぐ改正貸金業法が本年6月18日から完全施行した。それらに伴い各自治体も積極的にこの問題に取り組み始めている

- (1) 本市における相談者の実態把握はどうかを伺う
- (2) 相談窓口として消費生活センターが担っているが、それだけで本当に良いか伺う
- (3) 税金の滞納と多重債務との関係を伺う
- (4) 市民を守るセーフティネットとして、また健全な生活にたち直らせ、税を納める良き市民にするために市の積極的な支援が望まれると思うがいかがか

2 いじめ自殺根絶への取り組みについて伺う (答弁：教育長)

各地で子供たちの自殺が続いている。その背景にはいじめがあったのではないかとされている。小さな心の叫びを誰かが受け止められなかったかと、痛みが胸に突く

- (1) 本市の小中学校における”いじめ”の実態を伺う
- (2) 子供たちが発するSOSにどのように反応し、いじめの根絶とどのように向き合っているのか伺う

3 市民活動日本一について (答弁：市長)

- (1) 市政と地域や市民参加のあり方など、どのように考えているか伺う

4 予算編成で自主財源策を伺う (答弁：市長)

- (1) 平成23年度の予算編成ではどのような施策を考えているのか具体的に伺う。また、財源額はいくらかを伺う

一般質問通告要旨	議席番号	2	氏名	鈴木久男
----------	------	---	----	------

1 南北幹線道路整備について (答弁：市長)

- (1) 掛川高瀬線のバイパス計画区間（結縁寺 I C～岩井寺交差点を経て、高瀬地内の県道に接続するまでの約 3.5kmの間）の完成目標年度について伺う
- (2) 計画遅延による南部地域の市民生活や産業振興への影響についてどのように考えているか
- (3) 合併特例債事業の後（平成27年度以降）の財政措置をどのように担保するか
- (4) 救急搬送道路として新病院への乗り入れは可能か
- (5) 南部地区からのクォーター計画実現に向けた市長の考えを伺う

2 都市計画税について (答弁：市長)

- (1) 見直し検討会の見直し案について市長の考えを伺う
- (2) 都市計画税の一部を財源として、南部広域幹線道路を整備する考えについての見解は

3 平成23年度予算編成について (答弁：市長)

- (1) 平成23年度予算策定にあたって、市長の基本的な考えを伺う

4 国民健康保険税について (答弁：市長)

- (1) 一般会計から国保会計への法定外繰り入れの考え方を伺う
- (2) 国保加入者への実態説明と今後について伺う
- (3) 納税指導の方法と未収金整理のあり方について伺う

5 公募による指定管理者制度導入に係る公益目的で設立された団体の処遇について
(答弁：市長)

(1) 制度導入に際し従来の管理団体の目的や事業及び管理方法に対し、十分な検討は行われたか

(2) 公共団体職員の処遇についてどのように考えているか伺う

(3) 公募による指定管理者制度を市の保有する全ての施設について、今後も続けていくのか伺う

一般質問通告要旨	議席番号	5	氏名	柴田正美
----------	------	---	----	------

1 都市計画税の見直しについて

(答弁：市長)

- (1) 都市計画税は目的税であり、課税は受益が前提ではありませんか
- (2) 受益がないところには課税できないのではありませんか
- (3) 地方税法 702条は線引自治体にははっきり課税の基準を示しています
 - ① 市街化区域に課税できる
 - ② 市街化調整区域では、市街化区域以上に都市計画事業や区画整理が行われるところのみ課税できる。
非線引自治体で、全部または一部に課税する際は、この2つの基準が参考にされなければならないのではありませんか
- (4) 6月・9月議会で質問した、小柳津委員と三橋委員長の発言に対する市長の受け止め、考えを伺います
- (5) 50年も都市計画事業を何もやらないところは実質、市街化調整区域と変わらないのではありませんか
- (6) 市街地化しないところは課税しない努力が必要ではないか
- (7) 有識者会議の答申は「過去及び将来における都市計画事業の実施状況を踏まえての、地域の実情に応じた引き続きの見直し検討が必要」としている。尊重して今後もさらに見直しするのか
- (8) 辺地という形式的基準はおかしいという発言について今一度見解を伺う

2 新年度予算編成について

(答弁：市長・教育長)

- (1) 国保税値上げ回避を
 - ① 国保は社会保障の制度か、それとも加入者の助け合い（相互扶助）の制度か、再度問う。前議会同様、相互扶助との認識であれば、国保法第1条の「社会保障」明記との整合性を問う
 - ② 全国の市町村が一般会計からの法定外繰入れなどによって、国保税を低く抑える努力をしている。先般の議会全員協議会で、繰り入れが問題あるように言われたが、現在もその認識か
 - ③ 民主党政府が打ち出した国保広域化について、静岡県は反対の立場を表明した。市長の見解を伺う
 - ④ 後期高齢者制度の「人間ドック」実施の通知を受けて実施は検討するのか
 - ⑤ 国保法第44条の病院窓口一部負担軽減は国の通知を受けて生活保護基準以下の収入世帯には当然実施を検討するのか

⑥ 当局の値上げ案ではもう限界、払える保険料ではありません。議会全員協議会でも紛糾しており、市長はもう一度出直すべきです。見解を伺います

(2) 住宅リフォーム制度の検討を

① 中小業者、零細業者の仕事がなく、希望が見出せません。こうした情勢の時こそ、数倍から十数倍の経済効果があるという住宅リフォーム制度の実施を再度求めます。市長の見解を伺います

(3) 就学援助制度は改善されるのか

① 間違った基準所得額の大幅訂正で、申請者、受給者の増加は。広報は充分か。新年度で改善点はあるのか伺う

(4) 生活保護行政

① 行政窓口申請権を保障する「申請用紙・コーナー」を設置されますか

② 「申請書」の受理から「14日以内の通知」は守られるのか伺います

③ 「申請書」受理後、あるいは申請中の、申請者の「生存・命」を保障する改善点があれば伺う

3 環太平洋戦略的経済連携協定（T P P）参加問題について （答弁：市長）

(1) 菅民主党内閣がT P P参加を言明。農家はもとより、関連産業、地域経済に壊滅的打撃を与える。参加に対する市長の見解を問う

(2) T P Pに参加した場合の掛川市への影響を問う。農業生産額・食糧自給率(掛川市32%だが) 農業の多面的機能喪失額・雇用について明らかにされたい

(3) 政府の米価価格保障政策への評価も含めた米価暴落対策は、お茶農家他への支援は、新規就農者への支援は、週末農業者拡大へ遊休農地の市民農園としての利用はいかがか伺う

(4) 市長がマニフェストで公約している、地産地消推進の施策、有機農業など環境保全型農業への支援、ファーマーズマーケット（直売所）の拡大について具体的な方策を伺う

一般質問通告要旨	議席番号	9	氏名	川瀬守弘
----------	------	---	----	------

1 浜岡原発5号機の耐震安全性について (答弁：市長)

- (1) 中電は、国の見解が出るたびに、たびたび運転再開を表明してきたが、市として、4市対協としてどのように対応してきたか。中電の営業優先の姿勢に対し、市民の安全を守る立場から抗議をしたのか
- (2) 国に対してはどのように説明を求めたのか
- (3) 国のワーキンググループの現在の検討状況はどのようになっているか
- (4) 点検ミス・事故が多発している。「多重防護」機能が働いていない。危険なプルサーマル運転は中止すべきと思うが、いかがか
- (5) 再生可能エネルギー開発・導入で原発に依存しないエネルギーの転換を追求すべきと思うが、いかがか

2 東海地震対策について (答弁：市長)

- (1) 住宅耐震化補強工事に大幅な助成をすべきである。昭和56年以前の木造住宅戸数、21、22年度の予算及び耐震診断・耐震補強工事着工件数はどのようになっているか
- (2) 学校施設の耐震化はどうなっているか。耐震診断はどうなっているか

3 健康医療日本一について (答弁：市長)

保健・医療・福祉の連携強化による安心の確立。

「予防・健康づくり・医療・療養・介護まで一貫したサービスの提供」が求められている

- (1) 掛川市立総合病院の現状について
 - ① 診療科の診療制限・縮小の現状と見通し
 - ② 医師不足・看護師不足の現状と研修医の見通し
 - ③ 新病院について、名古屋大・浜松医大・名古屋市立大・岐阜大は全面的な協力を惜しまない決意と聞いているが、現状はどのようになっているか
- (2) 入院日数は12日、回復期・リハビリが市内にない。十分回復しなくても退院を迫られ行き先がない。自宅療養が押し付けられ、家族負担が大変。地域医療

はどうか

(3) 健康予防・早期発見・早期治療について

- ① 特定健診（メタボ健診）の受診率はどうか
- ② 「子宮頸がん・細菌性髄膜炎・肺炎球菌」の三つのワクチン助成について
伺う

(4) 介護保険の運用見直し・介護が保障されるように

- ① 特養老人ホーム入所希望者はどうか
- ② 施設整備計画はどうか

一般質問通告要旨	議席番号	13	氏名	松井俊二
----------	------	----	----	------

1 中心市街地活性化策について (答弁：市長)

- (1) 連雀、中町のアーケード整備をどのように考えるか
- (2) 活性化計画ソフト事業（けっトラ市・友引きストリートカフェ）の評価・課題と併せ、今後の展開について伺う
- (3) 中心市街地へ向かう都市計画道路「葛川下俣線」の最後の未整備区間である十九首、小鷹町地内の整備見通しは

2 掛川市の地域医療の現状と連携体制について (答弁：市長)

- (1) 掛川市の地域医療の核である掛川市立総合病院の医師不足による影響及び医師、看護師等への処遇改善策をどのように行っているか。また、その効果について伺う
- (2) 診療制限による紹介患者数の推移と掛川市からの患者流出状況及び後方支援連携での転院、退院先の状況を伺う
- (3) 「東部ふくしあ」がオープンし、病院とどのような連携をとっているのか。また、退院支援で病院の医師や看護師をはじめとする医療スタッフが、どのような関わりを持ち、利用しているのか伺う

3 消防の広域化について (答弁：市長)

- (1) なぜ、広域化を推進する必要があるのか
- (2) 広域化によって期待できるメリットとは
- (3) 広域化に対する国の財政措置は

4 防災・防火対策について (答弁：市長)

- (1) クローズアップされた東海・東南海・南海（3連動）地震の発生が危惧されることを踏まえ、木造住宅の耐震化の推進と進捗状況は
- (2) 消防団員（女性団員含む）確保と活性化の取り組みの現状とサラリーマン団員増加に伴う、日中（昼間）の火災・災害への対応は

一般質問通告要旨	議席番号	7	氏名	草賀章吉
----------	------	---	----	------

1 第1次掛川市総合計画について (答弁：市長)

行政運営の総合的な指針としての計画であるが、真にこの計画に沿い、PDCAサイクルを廻すようになっているか

- (1) 市長マニフェストと総合計画との位置づけについて伺う
- (2) 実施計画はどのような形式で存在し、各職場ではどのように活用(目標管理)されているか
- (3) 総合計画での7分野48施策・111項目の成果指標があるが23年中間目標の達成項目は

2 山林の実態と課題について (答弁：市長)

日本の国土の68%、掛川市の43%は森林。その森林が危機です。外国資本の山林買収増加、私有林の売買実態把握が困難、地籍調査は49%(国)、法令不備で伐採や開発行為にも規制できず

- (1) 最近5年間の静岡県内及び掛川市での山林売買の実績(面積、件数)について伺う
- (2) 山林の売買、保全、開発などに関する法律名とその目的について伺う
- (3) 林業の将来見通しについて伺う
- (4) 森林行政に対する見解について伺う

3 婚活事業について (答弁：市長)

人口減少が進行(原田地区平成2年、2,126人→平成12年1,935人)。結婚しなければ少子化は防げない

- (1) 原田地区実施の「婚活列車in天浜線」の感想について伺う
- (2) 行政による婚活支援の必要性について伺う

一般質問通告要旨	議席番号	20	氏名	高木敏男
----------	------	----	----	------

1 危機管理について

(答弁：市長)

- (1) ため池、用水、河川の転落防止柵等安全管理対策は
- (2) 消防団員の確保は地域まかせでよいのか
- (3) 同報無線の広報的な活用策は
- (4) 行方不明者への地元自治会の対応について

2 太陽光発電施設促進や環境学習推進について

(答弁：市長・教育長)

- (1) 掛川市の太陽光発電施設の設置状況と県内において、掛川市はどのような状況にあるのか
- (2) 普及促進にどのように取り組んでいるのか。設備投資額はペイできるのか
- (3) NPO法人の進めている「環境学習共育プラン」について
 - ① 小学生と共に考えながら進められる授業の結果、節電・節水など児童の行動に変化はみられるか
 - ② 継続が必要と考えるが、来年度以降の取り組みについてどのように考えているか
- (4) 太陽光発電を題材にした東京工業大学との共同研究の概要とその求める成果は何かを伺う

3 農商工連携室について

(答弁：市長)

- (1) 設置8ヵ月を経過した総括として市長はどのように考えているか
- (2) 具体的にはどんな成果を上げたのか
- (3) 今後の課題は